

(仮称)仙台市観光戦略 2027

~Into a New Era~
(中間案)【概要版】

中間案に関するご意見をお寄せください

本市では、これまで「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 2024(2022年4月～)」のもと、旅行消費の拡大による地域経済の活性化と交流人口ビジネスの発展に向けて様々な施策を推進してきました。

現行の戦略が今年度をもって終期を迎える中、観光を基軸としたさらなる交流人口の拡大に向け、新たな戦略の策定を進めています。

この度、中間案を取りまとめましたので、市民の皆様からのご意見を募集します。

【提出方法】

以下のいずれかの方法でご提出ください。何らかの理由により、下記の方法での提出が難しい場合は、可能な方法について個別にご相談ください。

電子メール、ファクス、郵送での提出にあたっては、裏面の「記入用紙」をご使用ください。なお、「記入用紙」は下記の市ホームページからもダウンロードできます。

電子申請システム	右の二次元コードを読み取りください。 (下記の市ホームページからもアクセスできます)	
電子メール	kei008020@city.sendai.jp	
ファクス	022-214-8316	
郵送	〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号 仙台市文化観光局観光課コンテンツ創出係	

【募集期間】

令和6年11月22日(金曜日)から12月23日(月曜日)17時まで[必着]

【資料配布場所・閲覧場所】

市政情報センター(市役所本庁舎2階)／各区役所(総合支所)総合案内／

JR 仙台駅2階仙台市観光情報センター 等

中間案の本編など詳細につきましては、下記 URL または右の二次元コードよりご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/kankokikaku/senryaku-sakutei.html>



【留意事項】

- * 電話や窓口など、口頭によるご意見は受付いたしませんので、ご了承ください。
- * いただいたご意見は、個人・団体が特定できない内容に編集し、後日、仙台市ホームページで公開する予定です。なお、個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。

(仮称)仙台市観光戦略 2027(中間案)

に関するご意見 記入用紙

記入者欄

団体名		代表者名	
住所			
氏名			

ご意見記入欄

ページ	ご意見

◆提出期限 令和6年12月23日(月)17時[必着]

〈お問い合わせ先〉

仙台市文化観光局観光交流部観光課
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号
電話:022-214-3018
ファクス:022-214-8316
Eメール:kei008020@city.sendai.jp

(仮称)仙台市観光戦略2027~Into a New Era~ (中間案)

策定の趣旨

これまでの枠に捉われない「攻めの観光」を推進していくため、中長期的な視野も踏まえ、新たな財源を活用して思い切った投資をしていくことで、観光を基軸とした持続的な地域経済の発展を目指し策定します。

達成目標

2027年まで延べ宿泊者数 **680万人泊** (国内610万人泊、インバウンド70万人泊)
将来に向けて **700万人泊**

戦略期間

2025年度~2027年度

3つの視点

視点1



「来てもらう」

旅の目的となる際立った訴求力のあるコンテンツの創出や、仙台ならではの歴史、文化、自然といったコアとなる観光資源の磨き上げを図り、国内外から認知され、わざわざ訪れたい都市を目指します。

視点2



「泊まってもらう」

体験の価値を重視する「コト消費」や、その時、その場所でしか味わえない「トキ消費」といった消費トレンドを捉えながら、滞在促進を図ります。また、仙台をベースキャンプとした東北の周遊を推進するとともに、観光目的以外の来訪者にも、宿泊や地域の消費につながる取り組みを進めます。

視点3



「また来てもらう」

性別や年代、国籍や障害の有無などを問わず楽しむことができる多様性の視点を踏まえながら、快適な受入環境を整備するとともに、人とのリレーションシップを通じてホスピタリティの向上を図り、リピーターの獲得を目指します。

6つの重点プロジェクト

3つの視点を踏まえ、6つの重点プロジェクトを推進します。

「次代へつなぐ青葉山エリアの価値の深化」は、本戦略期間の3か年で完結するものではなく、伊達政宗公没後400年となる2036年などを見据え、中長期的な視点を持って施策を展開していくため、他のプロジェクトと異なる位置づけの、重点プロジェクト「0」と定めています。

0 次代へつなぐ青葉山エリアの価値の深化

中長期的な視点のもと、青葉山エリアの価値を新たに創出し、受け継がれてきた歴史・文化の魅力や魅力を次の世代に継承・発展させ、誘客の促進を図ります。

- 歴史や景観などを活かした新たな観光資源の整備・検討
- エリア内の観光資源の磨き上げと大河ドラマ誘致に向けた機運醸成
- 二次交通の強化、イベントの開催支援や広瀬川の水辺の整備に向けた検討

1 心弾むエモーショナル都市の創造

漫画・アニメやまつり、ナイトコンテンツなどの充実を図り、心がワクワクする魅力あふれる都市を目指します。

- 漫画・アニメを活用した企画の実施やコンテンツの集積
- 大規模イベントの開催・誘致強化やアート・エンタメなどによる賑わい創出
- まつり・イベントの魅力向上と冬季の新たな大規模ナイトイベントの造成
- ナイトイベントの長期開催、ナイトコンテンツの造成促進

2 Sendai Urban Resortの推進

自然の恵みと触れ合う新たなコンテンツの創出やエリアの受入環境の充実を図ることで、何度でも訪れたい過ごし方を提案します。

- 西部エリアの観光スポットの整備と泉ヶ岳等におけるアドベンチャーツーリズムの推進
- 秋保地区、作並・定義地区の滞在環境整備
- 他分野と温泉を掛け合わせた新たな価値の創造
- 東部沿岸エリアの新たな体験コンテンツの創出
- 防災や減災を学ぶことができる教育旅行の誘致などの復興ツーリズムの推進
- 二次交通の充実などエリアの回遊性の向上

3 「Another JAPAN, SENDAI, TOHOKU」の発信

仙台・東北でしか出会えない魅力を体感いただくため、プロモーションの強化や受入環境の充実を図ることで、国内外の誘客や広域観光を推進します。

- アジア地域を対象としたプロモーションの強化
- 欧米豪市場を主なターゲットとした首都圏からの誘客
- VFR(友人・家族訪問)等の促進
- 東北ならではのモデルコースの造成や仙台を拠点とする東北日帰り観光の推進
- 仙台・東北各地のグルメを活用したプロモーション
- 大阪・関西万博を契機とした国内外からの誘客促進

4 +(プラス)観光の推進

ビジネスやMICE、スポーツ観戦等で来訪した方に対して観光を促し、宿泊や消費、連泊につながる取り組みを推進します。

- 青葉山エリアのMICE拠点としての機能強化
- 報奨旅行等の積極的な誘致
- 複数施設を利用して開催されるMICE助成制度の拡充とアフターMICEの周遊促進
- 閑散期の宿泊・連泊につながる取り組みの展開
- イベント等に参加する来訪者の消費拡大につながる取り組み

5 持続可能な観光地域の形成

受入環境の整備を推進するとともに、リピーターの獲得などを通じた持続可能な観光都市の実現を目指します。

- デジタルマーケティングの推進とCRMの導入
- 人材確保やDXなどの総合的支援や観光の基盤づくり強化
- サステナブルな取り組みの推進とレジリエンスの向上
- 市民が地域に誇りや愛着をもつことができる取り組みの推進
- DMOの体制強化と観光地域づくりの推進

宿泊税の活用

一般財源を活用した既存の観光振興策に加え、新たな財源として宿泊税も活用し、①旅行者を呼び込むための観光コンテンツの造成、②宿泊・連泊を促進するための誘客強化、③観光の基盤である宿泊事業者への支援の3つの視点のもと、新規・拡充事業を推進することで、さらなる交流人口の拡大を目指します。